



右/当センターの森 左上/アカシジミ 35～40mm 夕暮れになると活発に飛び回る 左左下/ハグロトンボ 60mm ゆるい流れ付近で群れていることが多い 左右下/スマレ



ようこそ、 光あふれる忙しの森へ 植物も虫も鳥もスタートダッシュ!

充

電完了!目まぐるしく変化する季節が始まりました。ウグイスカグラ、オオイヌノフグリ、ホトケノザなどの花がためらいがちに静かに告げていた春がはじけました。

野鳥たちの声も朗らかなさえずりに変わっています。ささやきだった春の声は今や大合唱となって辺りにあふれています。次々と芽吹いていく木々、桜前線は北上しムラサキケマン、ジロボウエンゴサク、スマレの仲間も太陽の日差しをたっぷり浴びて咲いていきます。道ばたのコンクリートのすき間でもみつかるスマレ。きつとアリが種を運んだのでしょうか。淡いグラデーションの新緑、成虫で冬を越したキタキチョウやヒオドシチョウ、幼虫で越冬したミヤマセセリは春を告げたかと思うと次の世代へバトンを渡しています。サナギで冬を越したアゲハたちがすつかり緑の葉を上げた木々の間を飛ぶようになっていきます。

ゴールデンウィークも終わり茶摘みの終わった茶畑ではアカシジミが翅を休め、年に1度のゼフィルスの季節の到来を告げます。木々はみるみる緑を濃くしていきます。やがて深緑の森では近くの川から飛んできたのでしようか、ハグロトンボがきらりと輝く黒い翅を静かに開きかける姿を目にします。樹上からは幼鳥の声が聞こえてきます。梅雨の晴れ間は最も強い日差しがチョウやトンボを輝かせ、植物に力を与えます。劇的に変化を遂げた森は大急ぎであふれる多くの命を養う準備を整えたようです。忙しの森は流れを緩め大海に至った川のようにゆったりと夏を迎えます。



ヤマザクラ (八重咲き)
画 堅香子の会

葉が展開すると同時に開花する。紅色かかった葉は、花の白さを引き立て美しさをそえる。

おすすめの取組み

いきものふれいの里の

- ・センターエリアベンチ
- ・虫たちの森 デッキ

新しくなりました。

その他、解説看板の一部英語化や道路標識頒布品の一筆箋など



新しい展示が始まります。

狭山丘陵のキノコ展示。どうぞご期待下さい。



新しい剥製が加わりました。

- ・ハクビシンやエナガの剥製



エナガ

and more